

SBS ビジネスレポート

2024年12月期 期末株主通信

2024年1月1日～2024年12月31日



INDEX

社長メッセージ
連結業績
特集1
特集2
トピックス
会社概要&株式の状況

SBSホールディングス株式会社

2025年度は「利益率の向上」をテーマに全力で取り組みます

代表取締役社長 鎌田 正彦



2024年度は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増大等により国内消費に回復傾向がみられた一方で、資源・原材料価格の高騰や生活必需品の価格上昇、また、人手不足の影響の深刻化等により、景気の先行き不透明感が依然継続する形となりました。物流業界においても、半導体不況や物価高騰に起因した買い控え等による物流量の減少、その一方で、「物流の2024年問題」に象徴される輸送能力不足とコスト上昇が顕在化するなど、苦戦を強いられる状況が続いています。そうしたなか、当社グループは、主力の物流事業における3PL、4PLビジネスの獲得に加えて、2024年度はワンストップのECプラットフォームサービス「EC物流お任せくん」の本格展開を開始し、関東、関西の両地域においてEC物流対応の大規模な物流センターを開設するなど、幅広いお客様のEC物流のニーズにお応えできる体制を整えてまいりました。これら新規拠点の積極的な開発によって、グループの運営床面積は100万坪を突破いたしました。

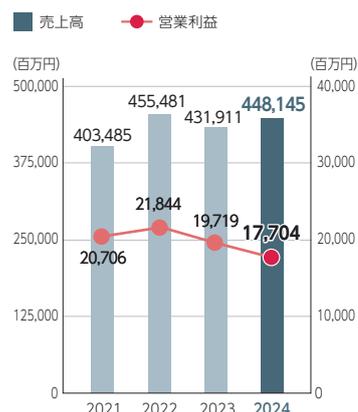
2024年度の連結業績については、売上高は前期より162億33百万円増(+3.8%)の4,481億45百万円、営業利益は同20億14百万円減(△10.2%)の177億4百万円、経常利益は同12億84百万円減(△6.5%)の184億63百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同4億37百万円減(△4.3%)の96億19百万円となりました。業績面では厳しい状況が続いており、私自身、一昨年から世界中の拠点と国内の赤字拠点を視察し、倉庫内の有効面積のフル活用やトラックの積載率向上など、利益率を高める方策がまだ途上であることを痛感しています。

当社グループは事業規模と事業ポートフォリオの拡充、さらに優秀な人材等を確保する手段として、M&Aを重要な成長戦略の一つと位置付けています。その一環として、2024年10月に日本精工(株)が保有するNSKロジスティクス(株)(現・SBS NSKロジスティクス(株))株式の66.61%を譲受し、さらに2024年12月にはオランダに本拠を構える3PL企業グループ(ズワルウグループ)の持株会社であるブラックバードロジスティクスB.V.の株式取得契約を締結するなど、国内外を問わず、より付加価値の高い総合的な物流サービスを提供できる体制の構築を図っております。2025年度は、こうした成果を取り込みつつ、先に述べたような地道な方策を着実に積み重ねながら、利益率の向上をテーマに取り組んでまいります。

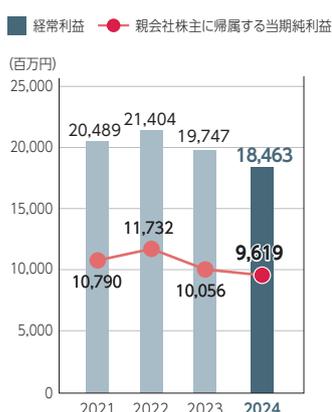
一方で、利益の追求のみならず、環境への配慮やコンプライアンス遵守、多様化する顧客の物流ニーズへの対応など、社会からの要請に応えることができれば、企業が存続することは叶いません。当社グループでは、こうした変化をむしろビジネス拡大のチャンスと捉え、全社的なコンプライアンス教育の推進やEVトラック導入の加速、ラストワンマイルでの置き配サービス本格導入などの取り組みを進めており、今後も社会からの要請に柔軟に対応してまいります。株主の皆様には、当社の事業活動と成長戦略にご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の連結業績

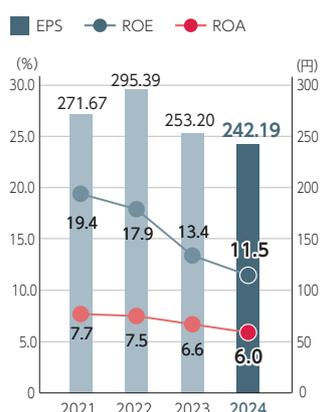
売上高／
営業利益(右軸)



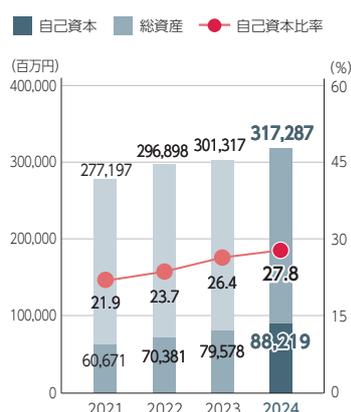
経常利益／親会社株主に
帰属する当期純利益



一株当たり純利益(EPS)(右軸)／
自己資本純利益率(ROE)／
総資産利益率(ROA)



自己資本／総資産／
自己資本比率(右軸)



「EC物流お任せくん」事業が順調に拡大 「野田瀬戸物流センター」の第1弾拠点も満床に

2024年2月に開設した、SBSグループ最大拠点「野田瀬戸物流センター」。その4階全エリア約1万坪（約3万3,000㎡）でスタートしたのが、EC物流支援サービス「EC物流お任せくん」です。保管からピッキング（仕分け）、梱包、ギフトラッピング、発送に至るEC物流業務をトータルでサポートし、取扱品目は雑貨や食品、化粧品など多岐にわたります。稼働からの約1年で事業規模は順調に拡大しており、顧客EC企業数は26社、月間出荷件数は35万件に上ります。今年3月には4階全エリアが満床の予定となり、2025年上期中には月間出荷件数が45万件に達する計画にあるなど、引き続き、さらなる事業成長を目指していきます。

専用フロアを1.6倍へ増床！ 冷凍・冷蔵品への対応も開始

「野田瀬戸物流センター」の4階エリアが満床となることから、新たに1階エリアの約6,000坪（約1万9,860㎡）も「EC物流お任せくん」の専用拠点として稼働しました。4階エリアでは常温のほか、定温（+20℃前後、+30℃以下）管理にも対応してきましたが、1階エリアでは新たに冷凍（-25℃以下）および冷蔵（+5℃～+10℃）管理も可能となり、アイスクリームや洋菓子など多様な商品特性に合致したコールドチェーンを構築しています。

「野田瀬戸物流センターA棟」概要
住所：千葉県野田市瀬戸1452-4
敷地面積：2万2,164坪（7万3,271㎡）
延床面積：5万332坪（16万6,386㎡）
地上4階建て



「EC物流お任せくん」西日本にも進出！ 将来的には全国主要消費地へ展開

「EC物流お任せくん」は西日本でもサービスをスタートしました。2024年12月に開設した「物流センター八尾」（大阪府八尾市）の2階エリア約2,000坪（約6,620㎡）を専用フロアとして運用開始。「野田瀬戸物流センター」と同じ倉庫内システムを採用することで、EC企業様は東西の在庫を一元管理できることが特長です。将来的には全国主要消費地へ物流拠点を拡大する予定にあり、各地のEC企業様のお悩みに応えていきます。

「物流センター八尾」概要
住所：大阪府八尾市泉町3-31
敷地面積：4,795坪（1万5,852㎡）
延床面積：7,991坪（2万6,416㎡）
地上4階建て



お客様の声

通販物流のDX化が実現し、 購入者様の満足度向上にも貢献

当社は、『日本直販』『悠遊生活』の2ブランドを基盤として、創業以来1,485万人を超えるお客様へ通販サービスを提供しています。今回、東京へ拠点を移したことで新たに関東でも物流センターが必要になり、属人化排除の観点からDX化した倉庫を利用したいと考え、『EC物流お任せくん』の導入を決めました。

スタッフの皆さんのお陰で倉庫の移管もスムーズに完了し、2024年6月から日用品やアパレル、健康食品、寝具、電化製品、ゴルフ道具、食品など幅広い通販商品を預けています。『EC物流お任せくん』によるDX化で物流データをリアルタイムに把握できるようになったうえ、土日発送も実現したことでお客様満足の上につながりました。今後は、BtoB（企業間）通販や本格化予定にあるグローバル事業への迅速な対応、自動化の推進による受注から発送までのさらなるリードタイム短縮にも期待しています。



日本直販株式会社
取締役 彦坂 昌彦様

スタッフ230人体制で お客様のEC物流を支援

「EC物流お任せくん」に携わるスタッフはサービス開始当初、営業担当社員2人のみでした。その後、取扱規模の拡大に合わせて人員体制を強化し、現在は「野田瀬戸物流センター」と「物流センター八尾」でパート・アルバイトを含めた約230人が働いています。今後も一人ひとりの習熟度を高め、チームとしても成長しながら、お客様のEC物流を支えていきます。また、今期は自動化ロボットも順次稼働していく予定です。



サステナブルな置き配サービス 「SBS Eco ロジ便」がスタート



当社グループで即日配送サービスを手掛けるSBS即配サポートは、2024年11月から「SBS Eco ロジ便」の提供を開始しました。置き配を前提とすることで ①リーズナブルな価格での配送 ②再配達率削減によるCO₂排出量の削減 ③ドライバー不足の解消——などを実現し、環境負荷と物流負荷の低い“サステナブル”な配送方法を構築しています。「SBS Eco ロジ便」は国土交通省の「再配達率削減緊急対策事業」における補助事業にも採択され、わが国で高止まりする再配達率を持続的に抑制する仕組みとして期待が寄せられています。

環境負荷を抑えた配送手段の実現

国土交通省の調査では、宅配などの再配達によるCO₂排出量は年間25万トン以上とされており、再配達率の削減は当社グループでも大きなテーマとなっています。「SBS Eco ロジ便」は関東一都三県で提供する、原則的に再配達のない置き配サービス。CO₂排出量を抑制し、中期経営計画「SBS Next Stage 2025」が掲げる「環境に配慮した物流施設・輸配送体制の整備」にも沿ったパーパスドリブンな配送サービスです。



荷主企業様への負担の軽減

置き配前提とすることで、配送時のお問い合わせを削減するとともに、高い初配完了率を実現しています。高効率なサービスの構築により、運賃もリーズナブルな価格へと転換。一般的なEC宅配のほか、衣服のレンタルサービスを行う荷主企業様の配送手段としても導入が検討されています。

同サービスでは宅配ボックスを活用して非対面によるレンタル衣服の交換配送を行うことを想定しており、実証実験も実施。導入後は従来より配送回数を半分に削減することが可能となります。

宅配に関する課題と非対面型の交換配送のメリット



配送における課題

- 受取者不在時の再配達の発生
- 配達と集荷の2回の配送が必要

サービスでの課題

- 受取・返却の手間がかかる
- 次回アイテム到着までのお届け待ちが発生



非対面型の交換配送



配送側のメリット

- 非対面により再配達がゼロに
- 交換配送で従来の配送回数が半分に

サービス側のメリット

- 宅配ボックスに入れるだけで受取・返却が完了
- アイテム到着の不在時間がゼロに

衣服のレンタルサービスの概要

ドライバーが働きやすい環境へ

SBSグループではフリマアプリ「メルカリ」と連携した、非対面配送サービス「エコメルカリ便」も開始しています。同サービスはローソンに設置されている「Smari(スマリ)ボックス」から発送でき、宛名書き不要の匿名配送にも対応した置き配専用便です。再配達件数の削減のみならず、“ひと筆描き”に近いルートの構築が可能となったことで配送効率が格段に向上し、ドライバーの働き方改革に貢献します。慢性的なドライバー不足が続く物流業界ですが、SBSグループでは荷主企業とも連携しながら、ドライバーの働きやすい環境を創出しています。

「Smari」を使用した発送の様子(三菱商事株式会社様 提供)





新規物流センターが続けてオープン グループ運営面積が100万坪突破

SBSグループ

SBSグループは2024年2月にグループ最大の物流拠点「野田瀬戸物流センターA棟」をオープン。さらに5月に医療ロジプラットフォーム拠点「北関東支店 柏沼南倉庫」、8月に総面積1万7,000坪を超える大型拠点「物流センター横浜福浦」を稼働しました。複数の新規物流センターが開設したことで12万坪の増床となり、当社グループの運営面積は100万坪を突破しました。また、12月には関西エリア初のEC戦略拠点「物流センター八尾」を開設。関西国際空港から約60分と国際貨物の輸送にも適しています。



物流センター横浜福浦



3月・11月

廃車予定のトラックをEV改造 量産前提とし、CO₂削減に大きく貢献

SBSホールディングス

国内初の取り組みとして、量産を前提とした小型ディーゼルトラックのEV改造を進めています。すでに株式会社IAT、ヤマトモビリティ&Mfg.株式会社と協業し、廃車予定だったいすゞエルフ2tと三菱ふそうキャンター1.5tをEV車両化。試験コースで走行性能や安全性能の検証を行っています。新車EVトラックと比較しても一充電あたりの走行距離は変わらず、低コストかつ短納期で配送現場に車両を戻すことが可能です。



EV車両化した中古トラック



10月

より付加価値の高い物流サービスへ NSKロジスティクスがグループ入り

SBSホールディングス

日本精工株式会社（以下「NSK」）の物流子会社であるNSKロジスティクス株式会社の普通株式の66.61%を取得しました。これによりNSKロジスティクスは当社グループの一員となり、社名をSBS NSKロジスティクス株式会社へと変更しています。NSKロジスティクスはNSKグループの国内物流および輸出入を事業領域とし、1999年に設立。運送、保管、荷役、梱包、輸出入業務請負等の分野において高いスキルとノウハウを有しているのが強みです。



12月

蘭物流会社の株式取得へ 欧州全域での事業拡大を推進

SBSホールディングス

オランダの物流企業、ズワルウグループを傘下に置くブラックバードロジスティクス B.V.の普通株式80%を取得する株式譲渡契約を締結しました。ズワルウグループは欧州最大港であるロッテルダム港で倉庫サービスを拡大し、欧州全域において貨物利用運送サービスを展開。当社グループでは欧州における3PL事業を強化し、中国・アジアの既存事業及び顧客ネットワークと融合させることで、グループ全体の海外事業を強化する計画です。なお、現在は現地に中間持ち株会社を設立し、グループ入りに向けて必要な手続きを進めています。



8月
5月・6月

改善事例などで立て続けに受賞 包装部門では22年連続受賞も達成

SBS東芝ロジスティクス

SBS東芝ロジスティクスは5月、日本ロジスティクスシステム協会が運用する「物流現場改善優良認定制度」で「プラチナ」に認定され、「全日本物流改善事例大会2024」で表彰されました。また6月には同大会で発表された優秀事例から優れた取り組みに贈られる「優秀物流改善賞」に選出されるとともに、日本物流団体連合会主催の「第25回物流環境大賞」で「特別賞」も受賞しました。8月には「2024日本パッケージングコンテスト」で「工業包装部門賞」に輝き、同コンテストにおける22年連続受賞を達成しました。



「第25回物流環境大賞」での「特別賞」受賞の様子

NEW

7月

CMに若手俳優の高橋文哉さん登場 当社グループの新イメージキャラに

SBSグループ

SBSグループでは新イメージキャラクターとして俳優の高橋文哉さんを起用しています。高橋さんは2019年「仮面ライダーゼロワン」で俳優デビュー。2023年に公開した映画「交換ウソ日記」で第47回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞しています。当社グループのWebサイト、YouTubeなどの動画に登場し、テレビCMでは昨年2月に開設した「野田瀬戸物流センター」を舞台に、「EC物流お任せくん」の魅力を伝え、好評を博しています。



SBSグループ
CMギャラリー



会社概要&株式の状況

会社概要

社名 S B Sホールディングス株式会社
代表取締役 鎌田 正彦
創立 1987年12月16日
資本金 39億20百万円
売上高 4,481億円(連結) ※2024年12月期
所在地 〒160-6125 東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー25階
TEL:03-6772-8200(代表)

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他

連結子会社 S B S東芝ロジスティクス(株)

2025年1月1日
S B Sロジスター(株)
東芝ロジスティクス上海外高橋社
東芝ロジスティクス大連社
東芝ロジスティクスシンガポール社
T Lフォーディングサービス・フィリピン社
T Lサービスタイ社
東芝ロジスティクス・ベトナム社
東芝ロジスティクス米国社
東芝ロジスティクス杭州社
東芝ロジスティクス香港社
東芝ロジスティクスフィリピン社
東芝ロジスティクスタイ社
東芝ロジスティクス・マレーシア社
東芝ロジスティクス・インド社
東芝ロジスティクス欧州社

S B Sリコーロジスティクス(株)

S B S三菱ロジスティクス(株)
RICOH INTERNATIONAL LOGISTICS (H.K.) Ltd.
SBS Logistics (Thailand) Co., Ltd.
(株)ジャス
RICOH LOGISTICS CORPORATION
理光国際貨運代理(深圳)有限公司
SBS Vietnam Co., Ltd.
S B Sグローバルネットワーク(株)

S B Sロジコム(株)

S B Sフレイトサービス(株)
旭新運輸開発(株)
S B Sロジコム関東(株)

S B Sフレック(株)

S B Sフレックネット(株) (株)日ノ丸急送

S B S即配サポート(株)

S B Sゼンツウ(株)

S B S N S Kロジスティクス(株)

S B S古河物流(株)

S B Sスタッフ(株)

S B Sファイナンス(株)

マーケティングパートナー(株)

S B Sアセットマネジメント(株)

(株)エルマックス

役員 (2025年3月25日現在)

代表取締役社長	鎌田 正彦	社外取締役	岩崎 二郎
取締役	星 秀一	社外取締役	小杉 善信
取締役	泰地 正人	社外取締役	関根 千津
取締役	田中 康仁	取締役(常勤監査等委員)	川井 裕也
取締役	五味 夏樹	社外取締役(監査等委員)	辻 ざちえ
取締役	若松 勝久	社外取締役(監査等委員)	鷲尾 英一郎

株式の状況

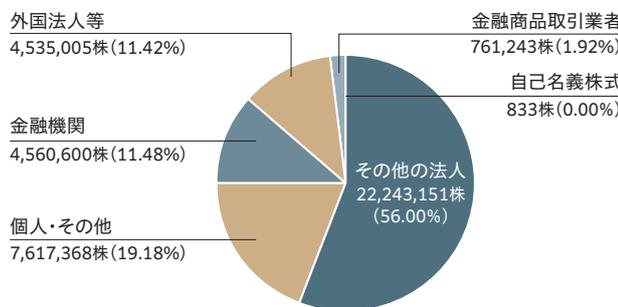
発行可能株式総数 154,705,200株
発行済株式の総数 39,718,200株
単元株制度の有無 有(100株)
株主数 5,157名

大株主の状況 (2024年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率(%)
株式会社鎌田企画	19,888,400	50.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,167,400	5.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,112,200	5.31
S B Sホールディングス従業員持株会	1,238,300	3.11
和佐見 勝	1,078,600	2.71
東武不動産株式会社	1,001,000	2.52
大内 純一	601,400	1.51
HSBC BANK PLC A/C M AND G(ACS) VALUE PARTNERS CHINA EQUITY FUND	419,900	1.05
株式会社ばんせい総合研究所	410,000	1.03
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	303,400	0.76

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数第3位を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況 (発行済株式総数:39,718,200株)



株主メモ

- 事業年度
1月1日~12月31日
- 期末配当金受領株主確定日
12月31日
- 定時株主総会
毎年3月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL. 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 上場証券取引所
東京証券取引所 プライム市場
- 公告方法
公告掲載URL <https://www.sbs-group.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金/配当性向(右軸)



SBSホールディングス株式会社

〒160-6125 東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー25階
TEL:03-6772-8200(代表)